

金沢大学理工研究域 地球社会基盤学系 教員公募

記

- 1.募集人員：准教授又はテニユア・トラック助教 1 名
- 2.所 属：理工研究域地球社会基盤学系
- 3.専門分野：サステイナブル建築環境工学（建築環境・設備）
- 4.職務内容：カーボンニュートラルに向けた ZEH（ネットゼロエネルギーハウス）又は ZEB（ネットゼロエネルギービル）、建築物や都市レベルでの循環システムの構築など、サステイナブルな建築環境・設備に関する実践的研究を行っていただきます。この研究を行うに当たっては地球社会基盤学系内の未来都市環境デザイングループの課題「データサイエンスによる持続可能な地方都市圏構想」と連携していただきます。併せて、理工学域及び大学院自然科学研究科の専門教育を分担（講義担当、研究指導）いただきます。また上記学系専任教員として、学類会議、研究科専攻会議への出席、その他の大学運営に関わる業務、授業外の学生指導（オフィスアワーを含む）や授業改善に関わる活動を含みます。
- 5.教育担当：理工学域 地球社会基盤学類
大学院自然科学研究科博士前期課程 地球社会基盤学専攻
准教授の場合、大学院自然科学研究科博士後期課程 地球社会基盤学専攻
- 6.担当科目：地球社会基盤学類における学類共通科目及び建築学副専攻に関する科目（建築環境工学 A,B, 建築設備工学 A,B など）を担当していただきます。また、大学院自然科学研究科の講義・演習科目を担当し、研究指導を行って頂きます。
- 7.応募資格：
 - (1) 着任時に博士の学位を有する研究者。
 - (2) 一級建築士またはその受験資格を有すること。
 - (3) 将来に渡って優れた研究・教育成果を期待できる経験と資質を有すること。研究・教育に強い熱意を有すること。
 - (4) 本学着任後、専門分野において幅広い視野に立って研究を行う能力を有すること。また、地球社会基盤学系の教員と連携して研究・教育活動を行える能力と意欲を有すること。
 - (5) 本学のグローバル人材育成の趣旨を理解し、英語による講義、および研究指導が行えること。国籍は問わないが、日本語による講義および学生や教職員とのコミュニケーション能力を備えていることが望ましい。
- 8.着任時期：2027 年 4 月 1 日以降のできるだけ早い時期
- 9.勤務形態：テニユア・トラック助教（任期は原則 5 年）のテニユア付与の可否については、任期満了前の所定の時期に研究・教育実績に関する学内審査を行います。学内審査の結果に応じて、任期満了後に、テニユア准教授への昇任又はテニユア助教への移行が可能です。テニユア審査において、テニユア・トラック期間を延長することが認められた場合（最長 3 年間）は、延長後の期間の最終年次に再度審査を実施します。本学テニユア・トラック制度の規程については、下記 URL をご覧ください。

<https://www.se.kanazawa-u.ac.jp/wp-content/uploads/2022/12/tenure.pdf>

※テニユア付与基準の概略

- (1) 国内外で、分野における研究成果が特に優れていると認められること
- (2) 適正に計画された研究計画が達成されていること
- (3) 十分な競争的研究資金を獲得していること
- (4) 学生に対する教育成果（研究指導および講義内容）が優れていると認められること

10.給 与：年俸制（その他：(1)を参照）

11.待 遇：テニユア・トラック助教の場合、研究経費として初年度 80 万円程度を措置する予定です。

12.応募書類：

- (1) 履歴書（写真添付，電子メールアドレスも記入のこと）
- (2) 研究業績目録（査読付き原著論文，著書，総説・解説，国際会議録，特許，その他）
- (3) 主要論文 3 編以内の別刷
- (4) これまでの研究概要（800 字程度）
- (5) 今後の研究計画と教育に対する抱負（800 字程度）
- (6) 受賞および招待講演などの特記事項，実務実績，競争的研究資金の獲得状況など
- (7) 推薦書（金沢大学理工研究域地球社会基盤学系長宛）または照会可能な方 1 名の氏名・所属・本人の連絡先（電話番号，電子メールアドレスを含むこと）
- (8) 希望職階：1.准教授，2. テニユア・トラック助教，3.准教授或いはテニユア・トラック助教どちらでも可，のいずれかを選んで記入し，その下に署名を付記して下さい。
（※採用後の職階は業績等に応じて本学にて決定します）

上記項目(1), (2), (4), (5), (6) は，下記 URL に掲載されている「個人調書」に記入の上，応募してください。 <https://www.se.kanazawa-u.ac.jp/researcher/koubo.html>

13.選考方法：書類選考の上，候補者の面接を行います。面接には英語による模擬講義を含みます。面接の旅費等は自己負担となります。書類選考と面接結果については本人に直接通知します。応募書類は返却しません。応募に関する個人情報は本件選考以外の目的には一切使用しません。

14.応募締切：2026 年 11 月 9 日（月）必着

15.書類提出：応募書類は PDF 形式で電子メールにて提出してください。提出先は以下の通りです。

金沢大学理工研究域地球社会基盤学系 教授 西野辰哉

E-mail: tan378@se.kanazawa-u.ac.jp

※メールのタイトルに「建築環境設備・教員公募応募書類」とし，添付ファイルとして提出してください。

※一度のメールの容量は最大 10MB です。メールが複数になる場合はその旨を伝えるようにお願いします。

※メール受信後，受取連絡をします。24 時間以内に受取連絡がない場合は受付が完了していません。再度提出をお願いします。

※応募書類は選考終了後に廃棄します。

16.問合わせ先：〒920-1192 金沢市角間町

金沢大学理工研究域地球社会基盤学系 教授 西野辰哉

E-mail: tan378@se.kanazawa-u.ac.jp

17.その他：

- (1) 就業規則および年俸制については、下記の URL をご覧ください。
<https://www.kanazawa-u.ac.jp/university/administration/regulation/rules>
- (2) 金沢大学では、教員の英語による教授能力の向上、英語による開講科目の増設等を前提とした英語教育の強化に取り組んでいます。
<https://sgu.adm.kanazawa-u.ac.jp/kusgu/project.html>
- (3) 本学は、「男女共同参画社会基本法」および「金沢大学ダイバーシティ推進宣言」の理念と方針に則り、多様性、公正性、包摂性の実践と促進を推進しています。人事選考における女性研究者や外国人研究者の積極的な応募を歓迎します（本学のダイバーシティ環境推進に関する取り組みについては <https://ipdi.w3.kanazawa-u.ac.jp> を参照ください）。
- (4) 適任者がいない場合、採用を見送ることがあります。

以上